

# 三笠市立三笠中学校 学校教育活動紹介

校長 松田 淳二

## ○学校紹介

三笠中学校は、新学制の施行に伴い昭和22年に開校しました。昭和35年に6万人超とピークを迎えた三笠市の人口は、基幹産業であった石炭産業の衰退と共に激減しました。生徒数も減少し、平成10年幌内中学校と統合、平成23年には三笠中央中学校と統合しています。現在は互いに気心の知れた102人の全校生徒が、部活動や学習に一生懸命取り組んでいます。

自然環境や、北海道の歴史をたどる遺構などに恵まれた三笠市では、これら有形無形の教育資源を活用し、ふるさと教育に力を入れています。また、全道の先駆けとなったコミュニティ・スクールの取組では、地域が一体となって学校を応援してくださっています。隣接する三笠小学校とは教育目標「未来を切り拓く児童・生徒の育成を目指して」を共有し、小中一貫した9年間を見通して、子どもたちの学びの充実を図っています。家庭や地域と学校課題を共有し、子ども主体の「地域とともにある学校づくり」を推進、三笠で生きることの誇りを持ち、三笠の未来を考え、郷土愛を育む学校教育を進めます。

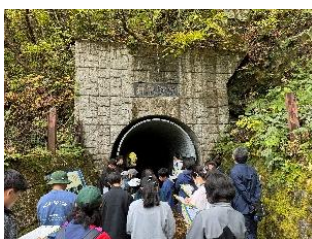


## ○行事や特色ある活動の様子

三笠市には、「三笠北海盆踊り」「三笠ジオパーク」など地域の教育資源があります。第1学年では、毎年7月に三笠甚句の会の皆さんを講師にお招きし、踊りの指導をいただきます。1ヶ月後に行われる盆踊り大会では、幾重にも重なった輪の中で、教えていただいた踊りを笑顔いっぱい披露します。また、三笠市には複数のエリアに分かれたジオパークがあります。桂沢の博物館エリアでは、5千万年前の地層や化石を観察することができ、第2学年が小学6年生を対象に、自ら解説員となってその魅力をプレゼンする教育活動を行っています。食物調理科を持つ市立三笠高等学校では、第1学年を対象に学校訪問の協力をいただいています。製菓と調理のグループに分かれ、それぞれスノーボールと出汁巻卵の調理の指導をいただき、特色ある地元高校の魅力を体験しています。



7月 北海盆踊り体験



10月 ジオパーク解説員



11月 三笠高校訪問